

## 2021年度 こども園 アサンプション国際幼稚園 幼稚園評価報告書

### 1 教育目標

キリスト教の精神の教えに基づき「誠実・隣人愛・喜び」をモットーとする。

- ・正しく生き生きとした子ども
- ・優しく明るい子ども
- ・考え、最後までやり抜こうとする子ども

### 2 重点取組内容

1. 教育事業
2. 教育環境の整備
3. 社会連携・奉仕事業
4. 募集に係る事業

#### 【学校評価 自己評価アンケートの結果と分析】(2021.2月実施)

##### <保護者>

「先生方のおかげで、たくさん学んで成長していると感じている」「英語嫌いでしたが園で習ってきた英語を使ってくれて嬉しく思う」「子どもをいつも温かく見守って下さり感謝している」など、日々の保育や園の方針について賛同いただける意見が多数あった。その一方で「預かり保育の予約が取りにくい」「バスキャッチの文章は短かく端的にして、件名の所に具体的な項目を入れてほしい」という意見もいただいた。またコロナ禍ということもあり、年長クラスの保護者の方からは「コロナ禍で緊急事態宣言も出て、やむを得ないのは理解しているが、幼稚園最後の年なのに行事が縮小や中止で残念だった」という意見も頂いた。

##### <職員>

- ・2021年度より英語教育を本格的にスタートした。(年中、年長は4月より週2回、年少は2学期より週1回)どのクラスの子どもたちも、楽しみながら学んでいた。また横割りになったことで、3年間通して英語の力を身につけていく、積み重ねが出来るようになった。
- ・縦割り保育の良さを残すため、週1回縦割りで過ごす時間を設けた。しかしコロナ禍であること、また行事に追われる後半、縦割りで過ごす時間が取りにくいという状況があった。ただ、設定した時間での関わりは難しかったが、朝、年少組の着替えで困っている時などに隣の年中年長クラスが手伝いに行くなど、一日の流れの中で自然な形での交流は持つことはできた。

### <学校関係者評価>

未だ続くコロナ禍の中で子ども達の笑顔と健康を守る為に、教職員の皆さまが色々な工夫をしたり、労力を惜しまずに動いて下さっている事、心より感謝しています。例えば給食で黙食の為に、音楽を流す、おしゃべりの多い子はクールダウンの為に「お引越し」（一時的な席替え）をする、またいち早くアクリル板を自作して使用したりと様々な工夫をしていただいています。

提案2点。①【バスキャッチの連絡案件に関して】「行事予定」「給食献立」というようにカテゴリ化されていれば見やすくなると思います。②【写真販売に関して】行事で撮影されてから、販売システムにアップされるまでのスパンが非常に長い。購入する写真を選別するのに時間がかかり、また購入金額も高額になるため、スパンを短くして下さるよう写真館に交渉いただけると幸いです。

### <分析>

- ・新2号認定の預かり保育の予約が取りにくいという意見をたくさんいただいた。それについて検討し新2号の予約を8日前から、1号認定を7日前からとし、少しでも予約を取りやすい方法を考えた。
- ・横割り保育のクラスになり、自分のクラスの子どもの成長発達を知り、日々の子どもの様子に合わせて長いスパンで保育計画を立てることができた。時間的に余裕を持って保育が出来るようになり、子どもを急かすことなく、子どものペースに合わせた一日の生活のリズムが出来るようになった。  
前年度までの課題になっていた、縦割り保育のクラスから横割り保育のクラスに移動するにあたっての時間のロスや、遊びが中断してしまうなどの子どもの負担や活動の達成感不足がなくなり、子どもたちが集中して遊び込む姿が見られた。

### 3 本年度の取組内容及び自己評価

重点取組内容	今年度の重点目標 (Plan)	具体的な取組計画・内容 (Do)	評価指標 (Check)	自己評価 (Action)
教育事業	(1) 教員のレベル向上	<p>(ア) 教員スキル向上のための研修を受ける。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修を実施する。</p> <p>(ウ) 神父さまによる研修を実施し、カトリック教育の理解を深める。</p> <p>(エ) 子どもたちの自立や自己肯定感を育むモンテッソーリの精神をもとに縦割り保育、横割り保育、その他の体験活動を充実させる。</p> <p>(オ) 宗教教育 目には見えないけれど、いつも見守ってくださる方がいらっしゃることを子どもたちが感じる。</p> <p>(カ) 英語、体操、それぞれの専門指導員のもと、保育を実施する。</p>	<p>(ア) 近畿地区研修大会等、オンラインでの研修の中から自ら学びたい分野の研修を受け、保育の質の向上に努める。</p> <p>(イ) 学校カウンセラーによる研修「傾聴」についての研修をグループディスカッションを用いて実施。</p> <p>(ウ) オンライン研修による神父様の講話、キリスト教保育の「愛されている自分を感ずる保育」(赤木敏之先生)を視聴。</p> <p>(エ) 学院外講師を招いた体験活動を実施。書道、茶道等の体験活動を実施。瀧口真一によるマジックショーで不思議な世界も楽しむ。</p> <p>(オ) 日々の生活の中で静かに手を合わせ祈る。また讃美歌を歌ったり聖劇を通して神さまを身近に感じる。聖堂に行き、シスターから神さまのお話を聞く。</p> <p>(カ) 専門指導員による体操指導により心と体の鍛錬と体力の向上を図る。また英語専門の指導者のもと、英語でのゲームで遊んだり歌ったり楽しみながら自然に英語や国際感覚を身に付ける。</p>	<p>判定：        できた ○                  一部できた △                  できなかった ×</p> <p>(ア) 判定：○ コロナ禍のため、オンライン研修が中心であった。そのため誰もが研修を受けやすく、たくさんの学びがあった。</p> <p>(イ) 判定：○ 「傾聴」の大切さを知り、日常の自分自身を振り返る良い機会となった。</p> <p>(ウ) 判定：○ シスターによる宗教研修を実施した。理解を深めるためには、より研修を重ねる必要がある。</p> <p>(エ) 判定：○ 普段できない体験をすることができ、子どもたちも集中して取り組んでいた。</p> <p>(オ) 判定：○ 神さまが、いつも見守ってくださっていることを子どもたちが感じ、静かな心で祈ることができた。</p> <p>(カ) 判定：○ コヤマスポーツスクールに体操保育を業務委託し、子どもたちの運動能力を伸ばすことができた。また、体操保育に必要な知識や技術を教員が学ぶこともできた。幼児英語では横割り保育でのネイティブ専任教諭による「ジェーンイングリッシュ」を実施した。</p>

<p>2 教育環境の整備</p>	<p>(1) 子どもたちは毎日過ごす環境を、明るく・美しく・安全に整える。</p>	<p>(ア) 定期的な安全点検（園舎・園庭・遊具等）を実施する。</p> <p>(イ) 自家用車送迎を希望する家庭には、毎年度申請制とし、「立体駐車場使用許可証」を発行する。</p> <p>(ウ) 通園バスの乗降の際は、ケガのないよう意識を高く持ち、マニュアルをもとに安全に送迎する。</p> <p>(エ) 自転車通園・徒歩通園の家庭には、マナー登降園指導を実施し、安全管理に努める。</p>	<p>(ア) 月始めの各所安全点検を実施する。</p> <p>(イ) 本学院内に車で入構する場合は許可証をフロントガラス内側に呈示するよう徹底し、安全管理に努める。</p> <p>(ウ) 登降園時の通園バスでは、人数確認、名簿確認をきちんと行い、忘れ物、子どもの置き去りがないうよう、乗車職員と運転手によるダブルチェックを行う。</p> <p>(エ) マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをする。</p>	<p>(ア) 判定：○ 園務分掌にて役割を決め、定期的に安全点検を実施することができた。</p> <p>(イ) 判定：○ 保護者に、自家用車で通園には必ず「立体駐車場使用許可証」を提示するよう促した。</p> <p>(ウ) 判定：○ 人数確認、名簿確認を行い、またダブルチェックにより安全に送迎できた。</p> <p>(エ) 判定：○ マナーを守って安全に登降園できるよう、教員が迎え入れや送り出しをするようにした。</p>
<p>3 社会連携・奉仕事業</p>	<p>(1) 地域との連携や子育て支援の充実を図る。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベント「みんなであそぼう」（園庭開放）を定期的実施。先生やお友だちと出会い、たくさん遊びを通して心身ともに育ちあう場を設ける。</p>	<p>(ア) 地域子育て支援のイベントを年間12回以上（園庭開放を含む）実施する。先生やお友だちと出会い、たくさん遊びを通して心身ともに育ちあう場を設ける。</p>	<p>(ア) 判定：△ 地域子育て支援として「みんなであそぼう」を実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止予防について、箕面市からの指示により一部実施を中止した。</p>
<p>4 募集に係る事業</p>	<p>(1) 募集活動の強化</p> <p>(2) 関係各所との連携</p>	<p>(ア) 地域の子育て支援の一貫として「プレスクール」を実施する。就学前の2歳児の親子対象に、親子で製作や集団遊びを楽しみながら心身ともに育ちあう場を提供する。また来年度の入園に繋げる。</p> <p>(イ) 2021年度の募集を強化する。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページの見直し。</p> <p>(エ) 入園説明会の実施。</p> <p>(ア) 園から併設小学校へ進学する子どもたちへの丁寧な申し送りをする。</p>	<p>(ア) プレスクールを実施する。 ・ひとクラス17名を3クラスで行う。 ・年18回実施。</p> <p>(イ) 2021年度3歳児進入園児受け入れ数を80名とする。</p> <p>(ウ) パンフレット、ホームページのデザイン・掲載写真の更新。</p> <p>(エ) コロナ禍のため3回に分けて実施。参加方法を対面での参加とweb配信での参加、どちらかを選択できるようにして行った。</p> <p>(ア) 内部進学する子どもたちの状況を小学校と情報を共有する。</p>	<p>(ア) 結果：○ 新型コロナウイルス感染症拡大防止（緊急事態宣言時など）のため継続して行うことが難しかった。 51名中17名が入園に繋がった。</p> <p>(イ) 判定：○ 2021年度の3歳児入園者数は80名（3月末実績）となり目標は達成できた。</p> <p>(ウ) 判定：○ ホームページ上の写真の更新や日々のブログを更新し、最新の情報を提供することができた。</p> <p>(エ) 判定：○ 対面だけでなくweb配信も取り入れたことにより、たくさんの参加があった。 対面での参加者67名、web配信での参加91名となった。</p> <p>(ア) 判定：○ 卒園後も引き続き細やかな配慮ができるように話し合いの場を持つことができた。</p>